

へいせい ねんど おおせがわこうみんかん げん おおせがわしんこう けんせつ ともな
平成 12 年度に大瀬川公民館（現：大瀬川振興センター）建設に伴い、
はくつちようさ けつか おも じょうじだい ほ どうこう
発掘調査を行っています。その結果、主に縄文時代に掘られた土坑が 91
き しょくりよう ちょぞうけつ き うちがわしゅう
基見つかりました。そのうち食糧をたくわえた貯蔵穴が 12 基、内側に集
せき あな はか き
石がみられる穴（お墓か）が 6 基それぞれ見つかりました。

ちょぞうけつ だんめん じっけん さんかく
中でも貯蔵穴は、断面の形が理科の実験で使われる“三角フラスコ”の
あな ないぶ ど き せつき しゅつど
形をしています。この穴の内部からは土器・石器が多く出土しているため、
ちょぞうよう いぶつ す ばしょ ふたた
一度は貯蔵用として使われた後に、これら遺物の捨て場所として再び使わ
かのうせい
れた可能性があります。

いっぼう うちがわ し なら いこうはいちず どうこう
一方、内側に石を敷き並べている穴については、遺構配置図の土坑①～
まいど しょうど たんかぶつ ふく どうこう めずら いぶつ とつ
③が埋土に焼土・炭化物を多く含み、また土坑④からは珍しい遺物 3 点（把
てつきちゅうこうどき がたどせいひん つぼがたどき しゅつど
手付注口土器・キノコ形土製品・ミニチュア壺形土器）が出土しているこ
はか あと ほうこく
となどから、お墓の跡であると報告されています。

はか どうこう ちょうさく ひがしがわ とうほう
お墓とみられる土坑は調査区の東側にまとまっていますが、より東方へ
そうてい たてあなじゅうきょ しゅうらくあと ちゅうしんいき しんこう
広がることが想定され、さらに竪穴住居が集中する集落跡の中心域は振興
みなみがわ きゅうこうてい とうほう しゅうへん
センター南側の旧校庭や東方の畑周辺にあるとみられます。



貯蔵穴とみられる土坑（平成 12 年度調査）



集石のある土坑（墓穴か）（平成 12 年度調査）